

事業計画書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

公益財団法人川端康成記念会

基本的指針

当記念会は、平成25年4月1日付で公益財団法人として移行登記を完了し、平成30年度は、公益財団法人川端康成記念会として6期目を迎えることとなる。

当記念会は、川端康成の功績を後世に伝承し日本文学の振興に寄与するため、引き続いて各公益事業の推進に努めることとする。

平成30年度においては前年の事業を継続しつつ各事業について、情報収集、協議検討を行った上、各公益事業を充実発展させるべく次のとおり計画する。

1. 川端康成文学賞の授与を目的とする事業（事業番号 公1の事業）

川端康成文学賞は川端康成の命日にあたる4月に授賞作品が決定される。そのため例年10月に始まり翌年3月に終わる授賞作品の予備選考作業は、授賞決定・文学賞授与という事業と会計年度を異にすることになる。

現在、川端康成文学賞第2期19回（通算第44回）の選考作業が進行中であるが、4月に授賞作が決定される。授賞作品は『新潮』6月号に選評とともに公表される。

第44回授賞作品については、平成30年度提出予定の「事業報告書」で明らかにする。

2. 川端康成記念館等の維持管理を目的とする事業（事業番号 公2の事業）

川端康成記念会が公益財団法人としてスタートを切るに当たり、一般市民を対象とした事業を行いたいと考えていたが、とりあえず庭園等を公開し、愛好者の裾野を広げ、鎌倉市初の名誉市民である川端康成の文学の理解を深めたいということで、鎌倉文学館の協力を得て、上記の事業を春と秋に計2回行うこととした。

事業内容は文学館における予備的知識を与えるための小講演と川端邸（庭園が主）見学から成り、参加者は午前午後各30名、計60名で一般市民からの公募による。

一方、記念館の保守管理及び庭園の整備は怠ることなく行い、可能な限り参観希望者の要望に応えることとする。

3. 川端康成の遺品、美術品、愛蔵品等の公開並びに展示貸出を目的とする事業

(事業番号 公3の事業)

(1) 平成30年度主たる展示計画は以下の通りである。

① 川端康成コレクション展

「川端康成・東山魁夷コレクション展」愛媛県美術館

(平成30年9月1日－10月21日)

「川端康成・横光利一展」三重県立美術館

(平成30年10月27日－12月16日)

② 日本近代文学館・川端康成記念室

「川端文学の名作Ⅱ」(平成30年3月31日－6月9日)

「モダニズムと浅草」(平成30年秋季)

③ 企画展協力

京都国立博物館 平和知新館 (平成30年4月7日－5月20日)

「池大雅」展

大阪府茨木市川端康成文学館 (平成30年6月－8月)

第一弾 川端生誕月記念企画「川端と岡本かの子」

第二弾 「ノーベル文学賞受賞記念企画」

大分県竹田市グランツ竹田 (平成30年10月6日－10月14日)

「竹田で出会う美しい日本」プロジェクト

川端康成ノーベル文学賞受賞50周年記念事業

(2) 新発見資料と未解読資料解読への努力

未解読資料はまだかなりの量があるので本年も鋭意努力する。

又、上記の解読作業による調査、研究結果については各地で開催される公開展示を通じて一般に公開できるよう本事業の推進に努める。

初恋の人伊藤初代関連の資料・写真などの資料が集まっているので、それを活用した本の出版を出版社側に働きかけている。